

箕輪城周辺まちあるきガイド

箕輪城

てくてくマップ



みさと歳時記

- 1月
- 2月 3日 箕郷町御嶽教講社節分祭(矢原)
- 3月上旬 みさと梅まつり(箕郷梅林)
 - 下旬 北野神社例祭獅子舞奉納(生原)
- 28日 長純寺不動尊例祭(富岡)
- 4月上旬 みさと芝桜まつり(5月上旬まで)
- 5月
- 6月
- 7月 7日 みさとホテルまつり(堂峰園、箕輪小北)
 - 27日 箕郷ふるさと夏祭り(ふれあい公園)
- 8月 14日 中善地 盆踊り
- 9月
- 10月 6日 みのわの里のきつねの嫁入り(ふれあい公園)
 - 上旬 諏訪神社例祭獅子舞奉納(東明屋)
 - 20日 Age×Age祭(ふれあい公園)
 - 27日 箕輪城まつり(箕郷支所、箕輪城跡本丸)
- 11月 12日 子育て鬼子母神大祭(妙福寺)
 - 中旬 旧下田邸紅葉まつり(箕郷支所、旧下田邸)
- 12月

*2019年の予定となりますので、目安として参考してください。また、日程につきましては変更となる場合があります。

「日本百名城」箕輪城

1 箕輪城の歴史、構造等

箕輪城は、浜川地域(高崎市)を中心に活動していた上野守護代の長野氏によって、1500年頃に築城されました。その後の領主は、武田氏、織田氏、北条氏、徳川氏と移り変わりますが、箕輪城は西上野の中核的な城として、改修が繰り返されました。慶長8年(1598)、最後の城主井伊直政が城を高崎に移し、箕輪城はおよそ1世紀の歴史に幕を閉じました。

榛名山の東南麓に広がる独立丘陵に築かれた平山城で、東西500メートル、南北1,100メートル、面積は36ヘクタールに及び、関東屈指の規模を誇ります。縄張り(城の設計図)の分類としては、梯郭式(ていかくしき)を基調とする平山城で、昭和62年に国指定史跡に指定されました。また、平成17年に「日本百名城」に選定されています。



1-A よみがえる郭馬出西虎口門

郭馬出(かくうまだし)の西側の虎口(出入口)では、発掘調査の結果をもとに平成28年11月に城門が復元されました。12万石の城主となった井伊直政の時代の櫓門(やぐらもん)で、関が原の戦い(1600)以前では、関東地方最大規模の門になります。伝統的工法で復元し、屋根は手割りした杉材を使用した板葺きで、壁は竹を格子状に組んで縄で固定した木舞(こまい)の上に荒壁(あらかべ)を塗り込んでいます。梁や桁は、手斧(ちょうな)で仕上げました。

【箕輪城の7つの入口】

箕輪城跡には、現在7か所の入口があり、いずれも遊歩道として整備され、森林浴を楽しみながらの散策に適したルートになっています。

まずは、観音様口(1-1)。バスを利用し箕輪城まで徒歩で来城される場合に便利です。観音堂前の石段を上るルートで、春には桜の花が見事です。また、なだらかな尾根道



で、一部に椿も見られる椿名口(つばきなぐち) (1-2)、竹林を楽しめる大手尾根口(1-3)なども、時間のある方には楽しんでいただけるルートです。

扇手口(からめてぐち) (1-4)は、大駐車場やトイレが完備され、城の主要部(二の丸・本丸)へのアプローチが最も容易です。長野氏時代～北条氏時代までは、ここが大手口(城の表口)でした。



▲扇手口(からめてぐち)

健脚の方は、是非、大堀切口(おおほりきりぐち) (1-5)へ。虎船門(ことうもん)駐車場から、大堀切を登り、一気に郭馬出西虎口門(かくうまだしにしこぐちもん)に向かうルートです。一汗かいたあとの城門から見下ろす箕輪城下や関東平野は格別です。



▲大手虎船門口(おおてことうもんぐち)

井伊氏時代に大手口となった大手虎船門口(おおてことうもんぐち) (1-6)は、所々に残る石垣を見ながら登ることが出来ます。

城跡の一番北側には、先祖の墓地であったといわれる霊置山口(たまきやまぐち) (1-7)があります。

名所・旧跡のご案内

2 箕輪城の鬼門に位置する祈願所、石上寺

石上寺は布留山潜龍院と号し、箕輪城の鬼門に位置する真言宗の寺院です。寺伝では、貞観4年(862)、長野氏の祖先といわれる在原業平が創建したと伝えられ、代々城の祈願所とされてきました。弘治3年(1557)、武田信玄の攻撃を受け炎上しましたが、天正19年(1591)、時の城主、井伊直政により再建されました。慶長3年(1598)、直政が城を高崎に移したときに、現在の鞆町(さやちょう)に移りました。現在、箕郷町東明屋にある石上寺は、移転後も地域の信徒によって護られ、六地藏石幢(せきどう)や輪廻の塔などの古い石造物が残っています。



3 箕輪城主・井伊直政創建の龍門寺

箕輪城の北東に位置する龍門寺は、天正18年(1590)に井伊直政が創建した曹洞宗の寺院です。総門の表紋は桶、裏に井桁の井伊家の紋が刻まれ、市指定の文化財になっています。直政は下野国富田(現在の栃木市)の大中寺から名僧の誉れ高い白庵禅師を招きました。慶長3年(1598)、箕輪城から和田への移城の際、直政は白庵に相談し、和田の地を「高崎」と命名しました。翌年には、白庵は高崎の地に龍廣寺を開きました。



4 矢原宿

箕輪城の城下町として栄えた通りの一つが矢原宿です。通りの両側には白壁の外塙や土蔵、古い木造建築物が残されており、今も城下町の面影を垣間見ることができます。かつては、通りに沿って石積みの「お堀」があり、昭和30年代頃までは10基ほどの水車が使われていました。また、家々の前には「川棚」と呼ばれるお堀に降りられる段状の石積みがあり、そこで野菜を洗うなど生活用水として利用していたそうです。



5 鬼子母神とシダレザクラで知られる妙福寺

妙福寺は、長野氏が長野郷に居住していたとき、現在の浜川町に祈願所として建立された日蓮宗の寺院です。箕輪城の護りに招じられて現在地(箕郷町西明屋)に移されました。子育ての神様として知られる鬼子母神を祭り、毎年11月12日に行われる「子育て鬼子母神大祭」では、参道に露店が立ち並び、多くの人で賑わいます。また、春には境内のシダレザクラの古木が咲き誇り、箕郷の春の風物詩となっています。



6 旧下田邸書院と堀部安兵衛作庭と伝わる庭園

高崎市箕郷支所に隣接する旧下田邸の書院と庭園は、箕輪城主長野氏の重臣であった下田大膳正勝の子孫の屋敷跡です。正勝は、箕輪城落城の折、城主長野盛とともに、御前曲輪の持仏堂で自害したと伝えられています。書院のブドウ模様にしすを配した透かし彫りの欄間は、桃山時代の様式を伝えています。庭園は、忠臣蔵で名高い剣豪堀部



安兵衛が造ったといわれる池泉回遊式庭園で、「青翠園(せいすいえん)」の名で親しまれています。秋の真紅に色づく紅葉は素晴らしく、多くの見物客が訪れています。この書院と庭園は、県の重要文化財に指定されています。

7 箕輪城の総鎮守、霊験あらたかな東向八幡宮

東向八幡宮は、文明6年(1474)に長野氏が山城国(現在の京都府)石清水八幡宮から分宮し、箕輪城の総鎮守としたことに始まると伝えられています。長野氏を始め、家臣からも武の神として尊崇されましたが、井伊直政が高崎へ城を移してから社殿は荒廃しました。元禄5年(1692)、白川を領地としていた安房国勝山藩主酒井隼人正が重病となったとき、夢に東向八幡宮が現れたため、直ちに祈願したところ、霊験あらたかに全快しました。酒井隼人正は同年秋に社殿を新築、これが現在の本殿で、今なお地元氏神様として尊ばれています。



8 上芝の共同水車

ゴットン、ゴットン、水しぶきを上げながら快い音を立てて水車が回っています。箕郷町内には明治の初期から水車が見られ、最盛期には三十数基を数え、昭和の初め頃には十数基が稼働していたといわれています。その後、機械によって精米、製粉が行われるようになり、次々と姿を消していきました。その中で唯一残っていたのが「上芝の共同水車」で、平成9年11月に復元され、市の民俗文化財に指定されています。



9 箕輪城主長野氏代々の菩提寺・長純寺

長純寺は、箕輪城主長野業が明応6年(1497)に箕郷町上芝に創建し、弘治3年(1557)、長野業政が現在地(同町富岡地内)に移しました。箕輪城主長野氏代々の菩提寺で、開山堂には市の指定文化財「長野業政公の像」が安置されています。参道入口では、閻魔大王や奪衣婆などの石仏が目を引き、参道奥に朱塗りの惣門と本堂が見えます。春には梅やソメイヨシノの古木、シダレザクラが見事な花を咲かせます。寺の北の丘には、業政公の墓所があります。



ファミリーで楽しむ

10 箕郷ふれあい公園

箕郷ふれあい公園は、榛名白川に沿って広がる総合公園です。南北約800mの細長い敷地には、種類豊富な遊具や多目的芝生広場があり、四季折々の自然が楽しめる。各種イベント会場になるなど、地元から親しまれている箕郷町の中心地的なレクリエーション施設です。公園内は「中央広場」と「いいの広場」の2つのエリアに分かれており、大型複合遊具やふわふわドーム、夏期営業のプールなど、家族連れでの散策やピクニックに適した公園です。(TEL027-371-8400)



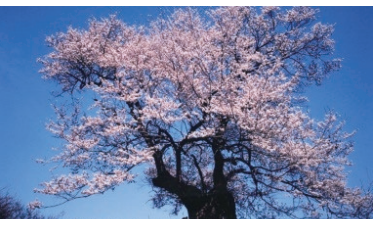
11 鳴沢湖

鳴沢湖は、農業用水の貯水池として昭和25年に完成した人造湖で、静かな山間にあり、森林浴やワカサギ釣りなどが楽しめる市民の憩いの場として親しまれています。平成30年に鳴沢湖遊歩道の全線が開通し、湖を一周する全長約2,600mの遊歩道が通行可能となり、身近な自然に親しみながら、鳴沢湖畔を安全に散策できるようになりました。散歩やジョギング等にお楽しみいただけます。ワカサギ釣り(10月～2月)や、貸しボートは家族連れでも安心して楽しめる浮桟橋が利用できます。竿のレンタルや仕掛け、エサの販売も行っておりますので、お気軽にお出掛けください。(TEL027-371-1124)

桜の名所

12 「行人塚と芋うえ桜」

前橋箕郷線の群馬バス営業所西の川沿いの道を、300mほど北上した辺りに芋うえ桜があります。芋植えが始まる時期に咲き出すので、そう呼ばれるようになった山桜です。幹周が5mを超える古木で、例年3月末から4月の初め頃に見頃を迎えます。桜のある丘は、高さ3m、一辺20mの方形横穴式の古墳で、南に入口があり、その奥に幅2.2m、奥行1.7mの玄室(お墓)があります。その昔、穴にこもり食を絶ち、自ら大往生を遂げた行者がいたことからこの丘は行人塚と呼ばれています。



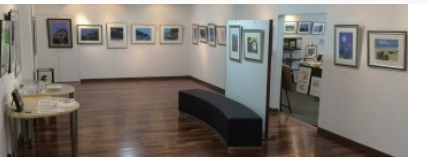
13 「榛名白川の桜並木」

箕郷ふれあい公園から榛名白川の下流に向かって3kmほどの間、川の両岸におよそ400本の桜並木が続いています。中心市街地からは少し外れていますが、桜の時期には是非こちらにもお越しください。満開の桜並木と遠くに見える榛名山の風景は、きっと忘れられない思い出になるでしょう。

ちょっと休憩

14 関口ココきり絵美術館

関口ココ氏は、日本国内をはじめ海外でも活躍された絵画家です。「関口ココきり絵美術館」は、フランスのサロン・ド・パリ展大賞作「近松心中物語」をはじめ、関口氏の代表作でもある「壘」など27点を展示しており、海外での評価の高い作品を紹介する目的で造られ、繊細で華麗なきり絵の世界を間近に感じることのできる空間です。また、喫茶コーナーも併設されており、絵をご覧になった後は、きり絵の世界に思いをはせながらゆっくり余韻に浸ることもできます。(TEL027-388-8118)



15 志倉製菓

明治創業で箕郷でも老舗の和菓子店。昭和の時代から変わらぬ店構えで、タイムスリップしたような雰囲気を感じます。5代目店主の女将さんが、毎日ひとつひとつ手作りする「みたらし団子」や「しこ饅頭」はどれもおいしく、それでいてどこか懐かしい味がすることから、古くからの常連もたくさんいます。そぞろ歩いてちょっと疲れたら、甘いものを食べてもう少し散策の足を延ばしてみても。(TEL027-371-2528)



16 万工房 陽だまり

箕郷支所東側の道路を挟んで向かいにある、民家を改装したカフェ。入った瞬間からくつろげる、アットホームな雰囲気です。食品添加物不使用のケーキや焼き菓子、無農薬の自家栽培野菜をたっぷり使うランチ(要予約)、ケーキセットなどが人気です。のんびりしたいとき、気軽に訪れてみてください。(TEL080-4434-8866)



箕輪城 てくてくマップ

芝桜公園



国指定史跡 日本百名城
箕輪城跡

●●●●●●●●
箕輪城跡一周と
城下町散策コース
(4,400m)
●●●●●●●●
箕輪城下の名所・
旧跡を訪ねるコース
(4,200m)

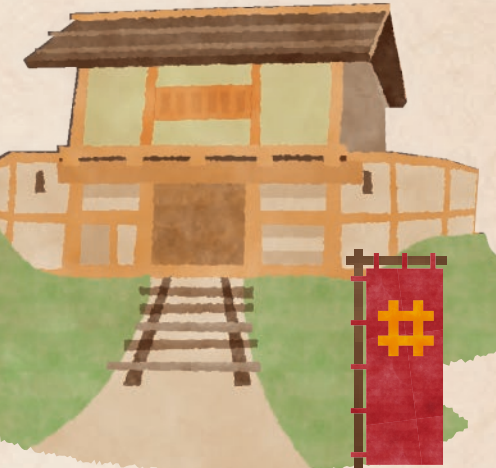


農林大学校



↑ 至榛名湖・榛名山

1-A 郭馬出西虎口門



9 長純寺



閻魔大王と
奪衣婆



旧下田邸
青翠園



11 鳴沢湖



ワカサギ釣り
10月-2月

8 上芝の水車
共同



13 榛名白川の
桜並木



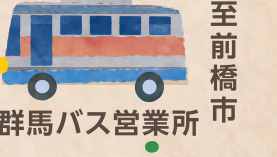
14 きり絵美術館
関口



12 芋うえ塚と
行人塚



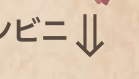
群馬バス営業所



24 コンビニ



コンビニ ↓



高崎安中波川線



至渋川市



群馬用水



⇒ 至前橋市



↓ 高崎市街地



箕輪交番 ↓

